

## 自分を測る

Wood / Human Relations 研究部会では、木材一人の関係の科学について様々な分野の研究者の方々にご講演いただき、木材科学の分野においても生理応答指標を用いてアプローチする方々が増えてきているように感じています。しかし、木材側のばらつきと人間側の個人差のマッチングはただでさえ大変であるのに、まだまだ不慣れな生理応答指標を用いて実験を進める上で「自分の測り方は合っているのか」「こんなにばらついていいんだろうか」と不安を覚える方も多いのではないのでしょうか。そこで今回の講演会では、参加者が「そこんところどうなの？」を実体験できる場を企画しました。関心をお持ちの方々が集まって、互いの「tips (コツやツボ)」を交換し合う場となれば幸いです。なお、本会は本部会と、日本木材学会居住性研究会、(社)日本木材加工技術協会木質仕上げ部会との共催となります。

**日 時** : 2009 年 11 月 20 日 (金) 13 時~18 時半

**会 場** : 森林総合研究所 (茨城県つくば市)

**内 容** :

### Part 1 唾液アミラーゼ活性を測ってみる

- 1) ラボ実験でのケーススタディ 森川 岳 (森林総合研究所)
- 2) フィールド実験でのケーススタディ 小林大介 (横浜国立大学)
- 3) 自分を測る : 精神負荷および嗅覚刺激を受ける前後での自身の唾液アミラーゼ活性の変化を、全参加者が調べます。

### Part 2 自律神経系反応, 中枢神経系反応を測ってみる

森林総研所有の装置を用いて、同一刺激を与えられた時の複数の被験者の反応を観察します (デモンストレーション)。

### Part 3 フリートーキング (情報交換会)

話題提供

- 1) 唾液アミラーゼ測定恨み節 (仮題) 中村智彦 (東京大学大学院)
- 2) 高齢者施設は大変です (仮題) 櫻川智史 (静岡県工業技術研究所)

**会 費** : 2,000 円 (唾液採取用チップ代, 資料集代), 情報交換会 3,000 円 (学生 1,000 円)

**主 催** : 日本木材学会居住性研究会

**共 催** : 日本生理人類学会 Wood / Human Relations 研究部会  
(社)日本木材加工技術協会木質仕上げ部会

**協 力** : (独)森林総合研究所 構造利用研究領域木質構造居住環境研究室

**連絡先** : 講演会への参加を希望される方は、下記の幹事まで、お名前、ご所属、ご連絡先 (電話番号、メールアドレスなど) をご一報下さい。なお、設備の関係で定員を先着 30 名といたします。

小林大介 (横浜国立大学) kobadai@ynu.ac.jp

森川 岳 (森林総合研究所) tmorik@ffrpi.affrc.go.jp

仲村匡司 (京都大学 : 日本木材学会居住性研究会幹事) nakamasa@kais.kyoto-u.ac.jp